



日本の20世紀遺産20選 (日本イコモス国内委員会) 旧朝倉邸と代官山ヒルサイドテラスを選定



「旧朝倉邸と代官山ヒルサイドテラス」は日本イコモス国内委員会の、「日本の20世紀遺産20選」に選定されました。

イコモスとは、正式名称は国際記念物遺跡会議。遺跡や歴史的建造物の保全に貢献するため、1965年に設立された非政府組織(NGO)で約150カ国の有識者約1万人が所属しています。国連教育科学文化機関(ユネスコ)の諮問機関として、世界文化遺産の登録審査や保全状況の調査にも関わっている組織です。

「旧朝倉邸と代官山ヒルサイドテラス」は、このたび、「近代建築思想の具体化と民間による都市周縁部開発(メタボリズム運動における群造形理論の具体化)」として、イコモスの世界文化遺産選定の評価基準の「[2] 建築や技術、記念碑的芸術、都市計画、景観設計の発展に関連し、ある期間にわたる、又は世界のある文化圏における人類の価値観の重要な交流を示していること。」と「[4] 人類の歴史の重要な段階を物語る建築様式、建築的、又は技術的な集合体の類型、景観に関する顕著な例であること。」に該当し評価・選定されました。

ヒルサイドテラスの設計は榎文彦さんと榎総合計画事務所で、「ヒルサイドテラス A-G 棟」「ヒルサイド・ウエスト」「デンマーク大使館」「旧朝倉邸」が構成遺産となりました。

今後、地域振興の発展につながりますが、保存と活用のバランスをより丁寧に考え対応し取り組んでいきたいです。

「旧朝倉邸と代官山ヒルサイドテラス」以外の選定は以下のとおりです。

2017年選定20選

1 上野恩賜公園と文化施設群 / 2 国立代々木屋内総合競技場 / 3 立山砂防施設群 / 4 黒部川水系の発電施設群 / 5 瀬戸大橋 / 6 青函トンネル-世界最長の海底トンネル / 7 舞鶴の海軍施設と都市計画 / 8 南禅寺界隈の近代庭園群 / 9 隅田川橋梁群と築地市場他を含む復興関連施設群 / 10 迎賓館赤坂離宮 / 11 聴竹居 / 12 箱根の大規模木造宿泊施設群 / 13 肥薩線(旧鹿児島本線) / 14 鶴岡八幡宮境内の旧神奈川県立近代美術館 / 15 有田の文化的景観/町並、産業・文化施設群 / 16 旧朝倉邸と代官山ヒルサイドテラス / 17 小岩井農場 / 18 西条の酒造施設群 / 19 東海道新幹線 / 20 伊賀上野城下町の文化的景観

代官山哲学カフェ アルゴリズムは「希望」を生成するか？

2017年10月28日(土)に代官山哲学カフェ「アルゴリズムは「希望」を生成(人工知能の研究者 松田雄馬先生)」が行われ、24名の方にご参加頂きました。

最初に「人間の知能を探求する」とのお話があり、いくつかの映像よりクイズ形式に長さや高さなどの質問があり、そこから導きだされるのは「目で見て判断出来ない」ということを実際に体感し「成長することで騙される能力を身につけていく。それがなかったら世界を見る事ができない=あてにならないことが生きて行く事」等印象的な言葉が続きました。また、代スキ会野口さんからは、まちづくりの観点から「計画されない世界」複雑で自由なまちづくりとは、必ずどこにいる、無意識な形や諸行無常=安定が生まれる等のお話がありました。

また参加者の宮台さんから、人工知能について、フロイドは神経プロセス、成人すると言葉の働きまで禁裏性にもいくつかの水準があり、言葉の分母が違う。人工知能=アルゴリズムだろうか？法にしたがう=計算、定住して法ができる、使っていないけどストックしている。能動的に、理不尽に不条理に見果てぬ夢、知能がくれたら良い、もし作るなら「目的」を人間がつくる言葉、目的があったときそれぞれがその前に能動的に動く(調和的關係をつくる)。



記憶しなくてもいいダイナミックな記憶がアルゴリズムで外部化すること、アルゴリズムはどの人間も没主体化、だれも計算できない。

以上のようなご意見がありました。

代官山サロン

『代官山のターニングポイントをふりかえる』 第1回「明治維新から関東大震災まで」

2017年11月18日(土)に代官山サロン『代官山のターニングポイントをふりかえる』回想と対話の会が行われ、24名の方にご参加頂きました。

全4回からなる代官山サロンの第1回のテーマは「明治維新から関東大震災まで」でした。代官山という地名の由来や三田用水の関係などを地図と照らし合わせ説明が進み、菅刈公園や猿楽公園の場所は西郷隆盛さん、岩倉具視さんは現在のキングホームズ、東京音大の建つ敷地を所有。「天狗煙草」岩谷松平さんとその家系図などからそのつながりについてお話がありました。

江戸時代、代官山のあたりは大名のかかえ屋敷が多く、のちに西郷従道さんが再販地検が起こった後ぐらいに購入。

1922年関東大震災後の鉄道の成り立ち、根津嘉一郎(鉄道王)さんからの指示で、役人をやめて武蔵電気鉄道の常務取締役となった五島慶太さんはのちに武蔵電気鉄道常務取締役となりました。渋沢栄一さんは宅地開発において、都市に通勤する知識層ターゲットに潇洒な郊外住宅地にしなくてはならないため購入者にも条件を付けました。代官山アパート(同潤会渋谷アパート)最初は賃貸で高級官僚、ジャーナリストなど知識層が住んでいました。昭和11年第一商業から南平台までは太い通りになっているが第一商業の前はまだ整備中の時期があり地図を見ながら道路ができていく時期を紐解きました。

参加者からは、「昭和4年～18年まで五島慶太さんがお住まいだった」「いい水と空気が体力、精神力も健康的に継続」「大きな道と路地の関係性(風景の連続性)」「同じモットーがありそれを紡いで行く人がいる町」「静けさを持つ町で、観光地しすぎて欲しくない」「住宅地でありながら商業地で、文化的な事も感じられるステキな場所」とのご感想がありました。



代官山サロン

『代官山のターニングポイントをふりかえる』 第2回「終戦後から代官山アドレス完成まで」



2017年12月15日(金)に代官山サロン『代官山のターニングポイントをふりかえる』回想と対話の会が行われ、33名の方にご参加頂きました。

全4回からなる代官山サロンの第2回のテーマは「終戦後から代官山アドレス完成まで」でした。1967年よりヒルサイドテラスの開発とその流れより榎先生と建築家のコミュニティとレンガ屋さんを経営していた皆川恵子さんやBIGI稲葉さんご夫妻のヒルサイドテラスに

入居されていたファッションのコミュニティ。また原宿・渋谷・代官山の歴史と雑誌の紹介による代官山のイメージの整理と原宿のセントラルアパートメントの歴史についてお話がありました。参加者からは、「品をなんとか持って欲しい」「no more commercial」「空が高く、空間が広いイメージ」「バランス良く発信して行く代官山」「こだわりを持っている個人事業者さんが多い印象」「緑が少なくなってきた」というご意見がありました。

代官山交番前歩道橋の撤去工事について

旧山手通り代官山交番前の歩道橋の撤去については2017年度中に実施することになっていましたが、3度にわたる工事業者の入札が不調に終わっているため、撤去工事の実施が遅延しています。

今後は、設計の見直し調整を行い2018年、夏頃の入札とのことです。その後撤去工事となります。



代官山ステキなまちづくり協議会とは?

「代官山ステキなまちづくり協議会(通称代スキ会)」とは、渋谷区まちづくり条例に基づく、この地域の認定まちづくり協議会です。認定まちづくり協議会とは、地域のまちづくりに関するルールづくりや、行政への提言を行うことが出来る組織です。

代官山ステキな街づくり協議会
(略して代スキ会)へのお誘い

■代スキ会ホームページ
<http://daisukikai.org>

■正会員/年額 10,000円 準会員/年額 2,000円
賛助会員(団体)/年額 50,000円

■お問い合わせ先 代官山ステキな街づくり協議会事務局
石原貞治(ICAデザイン研究室内)
tel:080-4404-1933 e-mail:ica@alles.or.jp

代官山好き!

がただ一つの入会資格
いつでも誰でもウェルカム♪

